第5講 PART1 ず・き・けり

ず・き・けり・つ・ぬ・たり・り

ず

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
未然形	ず						○	特殊型
		ざ	ざ	○	ざ	ざ	ざ	ざ＋**ラ変**型

【意味】

① 打消（～ない）

問一　「なかなか止まるべきにあら<u>ざれ</u>ば、…」の傍線部の終止形を答えよ。

き・けり

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	き							特殊型
形	**けり**	**けら**	○	**けり**	**ける**	**けれ**	○	**ラ変型**

【意味】

○「き」　①「　　　」過去（～た）→「　　　」の経験

○「けり」　①「　　　」過去（～た・～たそうだ）→「　　　」の経験
②詠嘆（～よ・～なあ）

※「けり」が**詠嘆**になる場合
1「　　中」の「けり」
2「　　**けり**」の「**けり**」
3「べかり**けり**」の「**けり**」
4 **会話文**中の「けり」（→文脈判断。**まず詠嘆**で訳す。おかしければ過去。）

問二　「合はせ［ a ］ども、…」の［ a ］に助動詞「き」を正しく活用させて入れよ。

問三　「いみじうつらき御心なりけり」の二重傍線部「けり」の助動詞の意味は何か答えよ。

〈Memo〉

第5講　PART1　確認問題

① 「仰せ合せしかば、人の亡び失せし事、…」の傍線部の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　尊敬　イ　完了　ウ　自発　エ　使役　オ　可能　カ　過去

② 「鰐（わに）に食ひ切られたるなりけりと見る程に、…」の傍線部「けり」と同じ意味・用法の「けり」が使われている文を、次の中から選べ。

ア　身をえうなき物に思ひなして、京にはあらじ、東の方へ住むべき国もとめにとて行きけり。
イ　八重葎（むぐら）しげれる宿のさびしきに人こそ見えね秋は来にけり。
ウ　野山にまじりて竹を取りつつよろづの事に使ひけり。
エ　いとやむごとなききはにはあらぬが、すぐれて時めき給ふありけり。

③ 「世の憂き事の聞こえ□ん方もがな。」の空欄にあてはまる助動詞として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ざら　イ　ざり　ウ　ざる　エ　ざれ

④「わが袖は潮干に見えぬ沖の石の人こそ知らね乾く間もなし」の傍線部の活用形として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形　　エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

⑤「滝の音は絶えて久しくなりぬれど名こそ流れてなほ聞こえけれ」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　やはり、世間は知らないままでいるなあ
イ　やはり、世間に知られていることだなあ
ウ　やはり、世間に知られていた
エ　やはり、世間は知っているに違いない

第５講　PART1　解答

問一　ず

問二　しか

問三　詠嘆

第5講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

①「ば」に接続するのは未然形か已然形で、「しか」と活用するのは、助動詞「き」。よって、正解はカ。

②設問文は「なりけり」の「けり」なので詠嘆。選択肢イが和歌であることに着目する。よって、イが正解。

③空欄の後は、推量の助動詞「む（ん）」が続く。推量の助動詞「む（ん）」は未然形に接続するので、空欄の活用形は未然形である。よって、アが正解。

④傍線部の上に「ぞ・なむ・や・か・こそ」の有無を確認。「こそ」があるので、係り結びになっていることに注意。よって、オが正解。

⑤和歌中の「けり」は詠嘆（〜よ・〜なあ）である。よって、イが正解。アも詠嘆の訳だが、傍線部中に打消の表現がないことに注意する。

〔解答〕

①カ　②イ　③ア　④オ　⑤イ